

## ハーバード大学との東日本大震災デジタルアーカイブを用いた学生交流と連携共同会議を実施しました(2016/09/22)

テーマ：震災アーカイブ，学生交流

場所：ハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所

2016年9月22日にハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所において、東北大学のリーディング大学院生3名と当研究所の今村文彦所長・教授，柴山明寛准教授，ポレー・セバスチャン助教（情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野）がハーバード大学との共同による東日本大震災デジタルアーカイブを用いた学生交流を実施しました。

午前は連携共同会議として、ハーバード大学のアンドリュー・ゴードン教授およびテッド・ベスター所長・教授，ギャビン・ホワイトロウ エクゼクティブディレクター，森本研究員，今村文彦所長・教授，柴山明寛准教授，ポレー・セバスチャン助教で東日本大震災アーカイブの現状報告や熊本地震の災害の報告，今後の取組，ハーバード大学のシステムについて情報・意見交換を行いました。意見交換では，東日本大震災デジタルアーカイブの連携強化，熊本地震デジタルアーカイブの連携等について同意しました。

午後は，ハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所の授業（ANTH/HIST 1923 Class）において，ハーバード大学の学部生と大学院生の9名と東北大学（リーディング大学院 グローバル安全学）の学生3名（北村さん，王さん，叶さん）が東日本大震災デジタルアーカイブを用いた発表を行いました。本発表は，ハーバード大学で開発した東日本大震災デジタルアーカイブとWakuシステムを利用した授業を東北大学で一昨年から実施し，学生交流としては2回目となります。発表では，テッド・ベスター教授がコーディネートを行い，ハーバード大学の学生9名が避難所，PTSD，災害と女性，福島原発などの発表を行い，東北大の学生3名は，東日本大震災に関連した東北六魂祭やふるさと納税からみた福島，震災デジタルアーカイブの現状とデータからみる福島などについて発表しました。発表後は，様々な議論を交わし，今後も継続して実施することに同意しました。



写真左：学生の発表風景 写真右：全体での集合写真

文責：今村文彦，柴山明寛，ポレー・セバスチャン（情報管理・社会連携部門）